

大人のジャケットとワンピース徹底研究

クワッサン

# Premium

プレミアム  
輝く自由な50代へ

2012 No.53 4月号

定価 650円

稲葉賀恵さん

に教わる

「大人のベーシック」

## ジャケットから始めよう いま、私たちに 必要な服

同窓会に着ていく、  
ちょっとセクシーな  
ワンピース

友達と行きたい

銀座のプレミアムなランチ

冬バテで滞った肌と気持ちをチャージ!

春こそ血流美容に励むべき

西欧がアジアの文化に学び始めた

パリのホテルは進化する

たとえ夫やパートナーがいても

女には、  
男友達という  
“刺激”が必要です

News!

新連載スタート!

- 西山栄子の「ファッションを動かすDNA」
- 島田順子の「パリは私のアトリエ」
- 坂本きよえの「インテリアは生き方だ!」
- スタイリストのおしゃれ情報「Premium's Premium」

表紙の人・  
稲葉賀恵さん



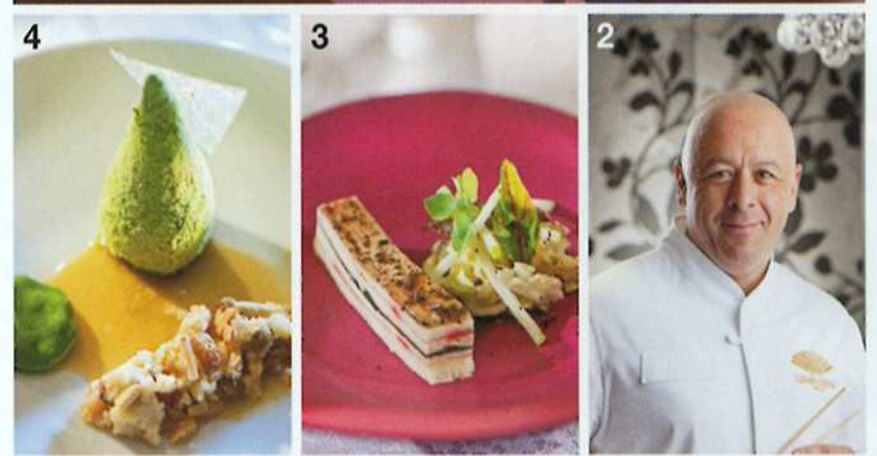
Mandarin Oriental Paris

# マンダリン オリエンタル パリ

フレンチエレガンスと東洋の洗練が融合。  
女性目線のリュクスなクチュールホテル。

宝石広場ヴァンドームとモード通りサントノールレがクロスする、パリのリュクスなスポットにある1930年代アールデコ建築がリニューアルし、「マンダリンオリエンタルパリ」が昨年6月オープンした。350㎡のスイートを含む138室、フェミニンな視点と最新機能の設備を備え、パリの香りを大切にした「クチュールホテル」というコンセプト。エントランス奥から小庭園が手招きをするような、開放的な雰囲気の造りも珍しい。シンボルのさまざまな蝶が「ようこそお越しを」と喜びの舞で迎えてくれる。従来のパリのパレスホテルとは違う「空気分」が心地いい。それは「リュクスとは心地よさとディテールにある」、そして「ホリスティック」という2つの価値観にある。

インテリアデザイナーのシビル・ド・マルジュリさんは、「フランスの伝統的なリュクスは重厚できらびやか。東洋のそれは控えめで品があり、繊細な細部に洗練が」と言う。レストラン「シジュールジュール」(特別仕立ての意のクチュール用語)のシェフ、ティエリー・マルクスさん(柔道5段!)は、「個人技でなく、スタッフが一体となり生まれる、ホリスティックなエネルギーとポジティブな周波」と説明してくれる。最新のファッショニララストや伝統のクチュール刺繍「ルサーージュ」の装飾などのフレンチエレガンスと、東洋の「おもてなしの心」とのハイモニー。新しいアール・ド・ヴィーヴルがここにある。



庭園を囲むようにして客室が並ぶ造り。

## 進化しつづける、ハイテク&エモーショナルな料理。

最高の素材を最新の器具でシンプルに。「毎東京都の禅寺で修行、「禅の心と精進料理」を学ぶ。客の嗜好に合わせるデギュスタシオン・メニュー。「68年、有名シェフ10人が訪日、少しずつ多品数を味わう日本料理に、出合い感動。が、当時のパリでは早すぎて受け入れられなかった。今実現してうれしい」

1. 静謐でシンプルな極みのインテリア。  
2. シェフのティエリー・マルクスさん。断食で心身を研ぎ澄ます。3.4. 「風味」が要のアートのような美しい料理。8~9品のディナー145€。ランチメニューは75€。



## ホテルが誇るウェルネスに 捧げられたスパケアを。

900㎡のスパ、「ザ・スパ・アット・マンダリン・オリエンタル」は、プライバシーを尊重し、スチームシャワーのついたシングル4室、ヴェイタリティブールのついたカップル用3室、全室個室。ストレスも完璧シャットアウトの別世界。マンダリン・スパシャルケアは140分(370€)、即効果の驚きあり。

1.2. 折り紙の花のような「オートクチュールの」壁と、ドームのようなモダンスタイルの、「憩いの隠れ家」へのエントランス。3. トリートメントルームは、全室個室の贅沢な造り。



シンボルの蝶のモチーフは再生の意。





1.フューシャや紫の華やぎ色がフェミニンさを感じさせるデラックスルーム(約40㎡、1泊423€〜)。2.3.パリ中を見渡せる広いダイニングテラスや、プライベートジム付きの2階建てスイート、ロイヤル・マンダリン(350㎡、1泊2万€)。



右/インテリアデザイナーのシル・ド・マルジュリさん。左/PRマネージャーのエミリー・ピションさん。

「パリのイメージであるロマンチックとクチュールを反映し、女主人が家に招きおもてなしするような居心地の部屋造りをしました」とド・マルジュリさん。「アジアを学ぶために、スタッフで緑茶を飲み、箸でせいろ蒸しを食べる実体験もしました」とピションさん。他のパレスホテルにはない訓練という。形でなく心を学ぶ。備品のソーイングキットに驚いた。針全部に糸が通っている。「リユクスはディテールに」である。



### モダンで贅沢な空間で、住まいのようなくつろぎを。

壁をなくす、光を通す半透明の素材を選ぶなど、ホテルの客室内にありがちな閉塞感をなくすためのさまざまな工夫で、開放感があり心地いい。スイートルームのベッドルームのカーペットは、素足に優しいシルク、アメニティのコームは木製など、女性目線のリユクスなディテール。フェミニンな雰囲気も「招かれ」気分に。

●マンダリン オリエンタル パリ★251 rue Saint-Honoré, 75001 Paris, FRANCE 宿泊予約専用ダイヤル ☎00531・650・487 全138室(うちスイート39室)。レストラン2か所&バー1か所、スパあり。